

# H30年度 地方創生事業の取り組み

- うきは市ルネッサンス戦略（総合戦略）の方向性 . . . . . 1
- これまでの流れ . . . . . 2
- 地方創生推進交付金採択事業 . . . . . 3
- 地方創生拠点整備交付金採択事業 . . . . . 13
- 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）採択事業 . . . . . 15



## うきは市ルネッサンス戦略(総合戦略)の方向性

基本理念	I コミュニティの創造的再生 II 産業の創造的再生 III 地域の創造的再生	基本方針とKPI	基本方針①:うきはの資源活用と新たな雇用の創出 数値目標:高校卒業世代(15歳~19歳の年齢階層)における市外への流出率を、現状の17.4%から2019年には15.4%へ低下させる。
			基本方針②:地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み 数値目標:うきは市へのIターン者を、現状の年間30人から2019年には50人に増加させる。
			基本方針③:結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市 数値目標:うきは市の出生率を、現在の1.53から2019年には1.63まで上昇させる。
			基本方針④:時代にあつたうきはの地域づくりと広域的な地域間連携 数値目標:現在年間15件(内人的交流を伴うもの:7件)実施されている広域的連携事業(単なる会議等は除く)を、2019年までにスクラップ・アンド・ビルドを含め、全体として20件(内人的交流を伴うもの:10件)に拡大する。

基本方針	プロジェクト
基本方針① うきはの資源活用と新たな雇用の創出	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 藤波ダム周辺地域産産連携空間形成プロジェクト</li> <li>2. うきはブランド形成プロジェクト</li> <li>3. 温泉・健康ツーリズムプロジェクト</li> <li>4. 地域資源を宝にするのだ!わたしの起業プロジェクト</li> <li>5. うきはの“しごと”拡大プロジェクト</li> <li>6. うきはの“農業・林業”拡大プロジェクト</li> <li>7. 地理的環境分析に基づく農業等の戦略的ブランド化プロジェクト</li> </ol>
基本方針② 地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ジョブマッチング空き家対策プロジェクト</li> <li>2. 災害に強い安全安心なまちづくりプロジェクト</li> <li>3. 輝け地域の宝にぎわい創出プロジェクト</li> <li>4. 2020年日本書紀1300年をターゲットとしたうきはの歴史資源活用型「時空のネットワーク」形成プロジェクト</li> </ol>
基本方針③ 結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子は地域の宝プロジェクト</li> <li>2. うきはっ子夢・学力向上プロジェクト</li> <li>3. 市民総出の健康増進プロジェクト</li> <li>4. 健康うきはプレミアムエイジプロジェクト</li> <li>5. 重点道の駅整備プロジェクト</li> </ol>
基本方針④ 時代にあつたうきはの地域づくりと広域的な地域間連携	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個性ある地域・人づくりプロジェクト</li> <li>2. 福岡トライアングル都市圏形成プロジェクト</li> <li>3. 耳納北麓連携プロジェクト</li> <li>4. 生葉の未来創造プロジェクト</li> <li>5. 筑後川上中流域ネットワークプロジェクト</li> <li>6. 超広域市町村ネットワーク強化プロジェクト</li> </ol>

# これまでの流れ

- まちづくり
- 地方への人の流れ
- しごと創生
- 働き方改革

地方人口ビジョン・地方版総合戦略策定

## 地方創生先行型交付金

- 基礎交付  
創業支援に係る相談窓口の整備
- 基礎交付  
地域農業の生産性の向上と就農支援策
- 基礎交付  
屋形古墳群の整備を通じた個性あるまちづくり
- 上乘タイプⅠ  
うきはテロワールプロジェクト
- 上乘タイプⅡ  
新規就農モデル経営総合支援事業

## 地方創生加速化交付金

- うきは地域総合商社設立による“外貨を稼ぐ地域づくり”及び創業支援による“仕事づくり”プロジェクト
- 地理的環境・歴史的環境を活かしたブランディング戦略に基づく地域農業のイノベーション事業

## 地方創生推進交付金

- うきはの地域資源を活かした文化資本の形成を基盤とする、新たな教育・学習環境の整備による地方創生人材の育成(単独)
- ブランディングによる農林水産業の基幹産業化
- 地域間連携による「稼ぐ力」・「新たな人の流れ」創出プロジェクト
- 筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立・広域的産業クラスターの形成

## 企業版ふるさと納税

地域コミュニティ活性化支援事業

## 地方創生拠点整備交付金

- 「うきは地域総合商社設立による“外貨を稼ぐ地域づくり”及び創業支援による“仕事づくり”プロジェクト」拠点整備事業
- 山村空間を活かした体感型観光拠点の整備(調音の滝周辺)
- 観光による生産性を高めるための「うきは」観光・ステーション整備事業
- 文化的建築物の活用による新ビジネス創出事業(鏡田屋敷)
- 文化的建築物の活用による新ビジネス創出事業(居蔵の館)
- うきはアリーナを活かしたスポーツツーリズム推進事業

## 地方創生推進交付金

- うきはの地域資源を活かした文化資本の形成を基盤とする、新たな教育・学習環境の整備による地方創生人材の育成(単独)
- ブランディングによる農林水産業の基幹産業化
- 地域間連携による「稼ぐ力」・「新たな人の流れ」創出プロジェクト
- 筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立・広域的産業クラスターの形成

## 企業版ふるさと納税

地域コミュニティ活性化支援事業

## 地方創生拠点整備交付金

- 産学官連携による「うきは6次産業化研究開発・事業化支援センター(仮称)」を拠点とする食品加工支援機能強化推進計画

## 地方創生推進交付金

- 「うきは」まるごとサテライトワーク推進プロジェクト
- うきはの地域資源を活かした文化資本の形成を基盤とする、新たな教育・学習環境の整備による地方創生人材の育成(単独)
- ブランディングによる農林水産業の基幹産業化
- 地域間連携による「稼ぐ力」・「新たな人の流れ」創出プロジェクト
- 筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立・広域的産業クラスターの形成

## 企業版ふるさと納税

地域コミュニティ活性化支援事業

## 地方創生推進交付金

- 「うきは」まるごとサテライトワーク推進プロジェクト
- うきはの地域資源を活かした文化資本の形成を基盤とする、新たな教育・学習環境の整備による地方創生人材の育成(単独)
- ブランディングによる農林水産業の基幹産業化
- 地域間連携による「稼ぐ力」・「新たな人の流れ」創出プロジェクト
- 筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立・広域的産業クラスターの形成

2015  
H27年度

2016  
H28年度

2017  
H29年度




2018  
H30年度

2019  
R元年度

# 地方創生推進交付金採択事業

採択事業名	概要
①うきはの地域資源を活かした文化資本の形成を基盤とする、新たな教育・学習環境の整備による地方創生人材の育成(うきは市単独事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが地元に住み続けられるための多様な教育機会の提供</li> <li>・アート・文化資本の醸成</li> <li>・女性活躍支援</li> <li>・人的資源の活用</li> </ul>
②ブランディングによる農林水産業の基幹産業化(福岡県及び県内自治体連携事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産物の販売と消費拡大</li> <li>・意欲ある担い手の育成と確保</li> <li>・魅力ある農山村づくりの推進</li> </ul>
③地域間連携による「稼ぐ力」・「新たな人の流れ」創出プロジェクト(久留米広域連携中枢都市圏連携事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活かした稼ぐ力の向上</li> <li>・強みを生かした資源の最大活用</li> <li>・一部取組の自立化や情報発信事業の拡充、定住人口確保に向けた取組展開</li> </ul>
④筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立的産業クラスターの形成(日田市連携事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業振興と木材関連産業の活性化の取組み</li> <li>・木質バイオマスの推進</li> <li>・森林空間活用ビジネスの創造と温泉連携による健康産業創出</li> </ul>
⑤「うきは」まるごとサテライトワーク推進プロジェクト(うきは市単独事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物等を活かしたコワーキングスペースの提供</li> <li>・市遊休施設と都市部企業とのマッチング</li> <li>・移住創業者のスタートアップや子育て世代の就労支援拠点の確保</li> </ul>

平成30年度地方創生推進交付金採択事業報告及び決算額




採択事業名 ①うきはの地域資源を活かした文化資本の形成を基盤とする、新たな教育・学習環境の整備による地方創生人材の育成							
事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 (千円)	事業成果	事業の様子
		基本方針	プロジェクト				
多面的学習機 会の提供	中学生、高校生をターゲットに、学校以外の地域社会と連携した学びの機会、および自らが社会参画する機会を持つことにより、地域への帰属意識を高める	③-	2.	学校教育課	8,410	・適応指導教室(キーノート)において、小中学校における不登校及びその兆候が見られる児童・生徒に、学習の指導及び教室外活動による社会活動の規範を指導し、学校復帰や進学の実現に取り組んだ。通級していた中学3年男子生徒4名については、全員が高校へと進学できた。 ・中学校に部活動の外部指導者を配置したことで、各部の生徒においては、経験豊富な指導者からの的確な指導により、各種大会等で好成績を収めるなどした。また、教職員においては、働き方改革の一助となり、外部指導者の活用が大きな支援となった。	
寺子屋事業	小学生をターゲットに、久留米大学の学生、教員との連携の元、自ら学ぶ意欲の向上を図る	③-	2.	生涯学習課	1,018	・年24回(5/26~3/2)土曜日実施。傷害保険料200円・検定実費 ・漢字検定2回(10/27、1/12、延べ39名受験)、算数検定2回(10/20、2/16、延べ31名受験)実施 ・補充学習のほか、歴史体験学習や、ボランティアによるバルーンアート・昔話読み聞かせを各1回実施 ・児童123名申込、延べ1,658名参加。支援員延べ464名(うち久留米大学生36名、実習生186名)が協力 ・アンケートでは、「勉強の仕方が分かった、分からないところが多くなった(児童)」「メリハリのある家庭学習ができていて、努力する姿が見られ、自信もついてきている(保護者)」といった意見があり、学習意欲の向上による家庭学習の習慣化が図られた。	
うきはっ子の豊かな心育事業	未就学児にリトミック教育や文化教育など人間の感性を活かす教育の場を提供する。また、小学生を対象に他地域との交流連携を通じ、自らの住む地域の特性について認識の形成を図る。さらに小学校英語活動及び外国語科の先行実施に伴い日本人講師を配置する。	③-	2.	福祉事務所/生涯学習課/学校教育課	9,642	(福祉事務所) ・リトミック教育では、保育士への研修が2年目となり、指導者講習会を受講していない保育士を含めて情報共有を図り、講習会で学習したことを日常の保育で活用し、取り組みに向上がみられた。 ・児童においては、集中力、表現力だけでなく、人に合わせる、待つ、譲り合うといった行動ができるようになり、社会性や協調性にも向上がみられた。 ・また、文化教育として保育所、学童保育所の児童を対象に英語にふれあう時間を設け、外国語講師とのふれあいを通して、異文化に対する興味や好奇心を養うことができた。 (生涯学習課) ・子ども未来学部で小学4~6年生を対象に鷹取登山など体験学習を開催し、郷土を誇りに思うジュニアリーダーの育成を進めた。 ・鷹取登山を6/2~3に実施。前日にうきはブランドや歴史・古墳について学び、子ども議会に向けて準備を行った。 ・吉岐島自然体験を8/7~10に実施。海での自然体験や、民宿での集団宿泊体験を行った。 ・子ども議会を8/25に実施。2つの体験活動において子ども達が感じた「こんなうきはは市にしたい」という内容で、市執行部に対し提案を行った。 (学校教育課) ・日本人ALTを各小学校に派遣し、各小学校の外国語教育における支援を行った。特に音楽や映像を活用して楽しみながら学ぶことや、本格的な発音を耳にすることで、児童の外国語を学ぶことに対する意欲を高めた。	

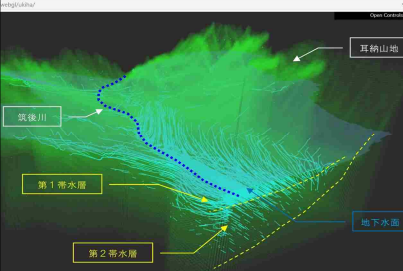

キーノートの取り組み

学習風景




文化教育での外国語講師とのふれあい




採択事業名		①うきはの地域資源を活かした文化資本の形成を基盤とする、新たな教育・学習環境の整備による地方創生人材の育成					
事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 (千円)	事業成果	事業の様子
		基本方針	プロジェクト				
国際連携・文化資本創出事業	子どもや子育て世代をターゲットに、アーティストを世界から呼び込み、触れ合いや市内の文化的資源の対外的な発信を通じた文化資本の形成を育む	③-	2.	うきはブランド推進課	2,500	アーティスト3組を受け入れ、国際連携・文化資本の形成に努めた。 ①10/23～10/26 「日蘭建築文化協会」：九大の学生とオランダの建築士が吉井地区の街並みや景観を調査・分析・評価し、今後のまちづくりについて関係者へ発表を行った。 ②11/17 ムジカ・レアーレ[オランダ王立室内楽団]：世界最高のオーケストラと呼ばれる「ロイヤルコンサートヘボウ・オーケストラ」より現役の室内楽団がうきはへ訪問し、うきは市民センターでミニコンサートを行った。 ③1/19～3/29「ザ・フューチャー」：オランダ人男女二人組の印刷・出版系アーティストが訪問。期間中、杉工場とのコラボ作品を制作し、展示・発表会を実施した。	 オランダ人芸術家と杉工場の共同製作
女性活躍人材育成事業	女性をターゲットに、地域の文化資本を活用し、「小さな起業」等を通じて自らが積極的に社会参画していくとともに、積極的に子育てに対応していくための環境を整備する	①-	5.	男女共同参画推進室	974	・女性が起業するために必要な知識を習得するための支援講座を実施した。 ・14講座を開講し、159名(延べ275名)が受講し、うち3名は講座で学んだ知識を生かし、製品を商品化して実際に販売を行った。 ・平成30年度実施講座 ……14講座(食品加工、食品表示、商品の仕上げ・デザイン、商品の流通、HP作成方法等。)	 起業就業支援講座
まちごとクラウドソーシング	地域の多様な人材を積極的に活用することで地域自らが内発的に人材を育成する仕組みを作る	③-	4.	うきはブランド推進課	750	・地域資源や人の営み等をまとめた「うきはの葉」を1,000部製作した。内容は妹川地区の製茶と茶畑景観について取り上げ、これをきっかけに地域を訪問し、そこで得た情報や会話とともにお茶を楽しんでいただく流れとなる。また以前作成した「安元知之と嫩葉会」についてのトークイベントを開催した。 ・その他、福岡市における企画展示、山口県萩市におけるエコミュージアムの取組視察、新川地区の九州電力橋詰水力発電所の見学ツアーを実施して、外部から人材を受け入れるとともに、地域の人材育成を行った。	 うきはの葉トークイベント
うきは市民大学事業	すべての市民をターゲットに、自ら学び一人ひとりが持つ特性や能力を活かして地域に還元していく人材づくりを進める	③-	4.	生涯学習課	4,043	・主にいきいき・地方創生学部を担当するコーディネーターを1名雇用して、高齢者の健康と生きがいづくり、高齢者学習の充実と郷土愛や福祉の心、ボランティア精神の育成を担った。 4/25市民大学開講。子ども未来・いきいき・一般教養・地方創生・男女共同参画の5学部を展開し、3/3閉講受講生数：子ども未来(寺子屋 123名、米粉パン作り28組71名、親子陶芸 54組127名、体験学習 60名)いきいき(341名)、一般教養(555名)、地方創生(172名)、男女共同参画(317名)、久留米大特別公開講座(213名)、計 1,979名 ・米粉パン作り 8/1～2計2回、にじの耳納の里にて実施、1組500円 ・親子陶芸 7/28～29午前午後の計4回、うきは市土の詩を講師に実施 ・久留米大特別公開講座 9/1～22の土曜日計6コマ「うきはは学～筑後川の中流域うきは市周辺の歴史と社会、文化を再考察して、うきは市の将来展望を考える」を開催した。	 子ども未来学部の取り組み
					27,337		



採択事業名		②ブランディングによる農林水産業の基幹産業化					
事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 (千円)	事業成果	事業の様子
		基本方針	プロジェクト				
うきはテロワールプロモーション事業	うきはテロワールプロモーションを通じた農林水産物の新たなプロモーションモデル開拓	①-	7.	うきはブランド推進課	14,321	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京銀座三越やキャナルシティ博多のOPEN MUJI福岡で「うきはテロワール」ブースを設置して、プロモーションイベントを実施するとともに、メディア、業界インフルエンサー、VIP顧客等約70名を招待し、「うきはテロワール」や出展商品について説明を行うことでうきはのPRと販路拡大に努めた。会期中のメディア記事掲載は4件。</li> <li>・うきはテロワールを紹介するプロモーションビデオ「3分でわかるテロワール」を制作した。</li> <li>・市公式ホームページのトップページを追加変更し、市の全景や白壁の街並み、フルーツなどの写真を掲載することで自然に恵まれたフルーツの里としての地域イメージを高めるテロワール関連画像を盛り込んで視覚的な訴求効果を高めた。</li> <li>・テロワールパンフレットの増刷、ノベルティグッズの制作を行った。</li> </ul>	 <p>銀座三越伊勢丹でのPRイベント</p>
高付加価値農業推進事業	うきはテロワールに基づく新規商品の開発等による高付加価値農業の推進	①-	5.	うきはブランド推進課	849	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フルーツビール「うきはフルーツエール」の開発・製造に伴い、製造にかかるビューレの選考、濃度分析、ビール製造にかかる各種調整、新たなフルーツの活用調査を行った。</li> <li>・フルーツビール「うきはフルーツエール」のテストマーケティングを実施し、試験的な販売を通じてアンケート調査等を実施し、検証、販路開拓、PR方法等の検討を行った。</li> <li>・主な成果として、道の駅うきはでの販売(600円)や、西鉄観光列車「THE RAIL KITCHEN CHIKUGO」への商品納入が決定した。</li> </ul>	 <p>販売開始したフルーツビール</p>
農業マーケティング塾	新規就業者の確保・定着を促進するとともに、規模拡大や人材育成等を通じ、担い手の経営力の強化を図る	①- ①-	6. 7.	農林振興課	7,710	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)うきはレインボーファームで新規就農者の受け入れを行い、就農に向けた栽培技術や経営計画等について研修を続けている。H30年度末までに5名の研修生が就農し、現在、引き続き1名が令和2年中の就農に向けて研修を継続している。また、就労支援の取り組みとして、収穫体験会を実施し、約30人の参加があった。</li> <li>・中山間地の農業振興の取り組みについては、昨年に引き続き真美野地区の農地(2.2ha)で適地作物の実証実験を実施した。また、鳥獣被害防止対策としてワイヤーメッシュと併せて目隠しシートを設置し、効果の実証を実施した。</li> <li>・担い手確保の取り組みとしては、県外からの果樹就農希望者に対し、住居や農地の斡旋や地域住民とのコミュニケーション作り等のサポートを行った。</li> </ul>	 <p>トマト栽培を学び独立自営就農を目指す</p>




採択事業名 ②ブランディングによる農林水産業の基幹産業化							
事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 (千円)	事業成果	事業の様子
		基本方針	プロジェクト				
農的水循環環境調査	うきは市の農業環境の優位性を分析するため、地下水等の農的水環境の調査の実施	①-	7.	水資源対策室	14,580	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「うきはテロワール」を深化させるため、農業環境に重要な地下水について循環調査と保全を行った。</li> <li>・市内各所で連続観測調査(井戸5カ所選定9カ月間観測)、水質検査(河川11カ所、地下水22カ所)、水質調査10か所で実施し、うきは市全体の地下水量と水収支を解析して、地区別の地下水量と水収支を算定した。</li> <li>・3年間の調査の結果、市内平地部での適正な揚水量(利用可能量)は、年間1,288万トンと推計し、分かりやすく解説したパンフレットを作成した上で、今後の有効利用の可能性について検証した。</li> </ul>	 <p>地下水の流動解析3D図</p>
農的空間整備事業	文化財を農村資源として活用するためのガイダンス拠点等の整備による農的空間の整備	②-	4.	生涯学習課	18,514	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果樹地帯に位置する屋形古墳群(珍敷塚・原・鳥船塚・古畑)の古墳広場、散策施設等の実施設計を行った。</li> <li>・またそれに係る土地の公有化を行った。</li> <li>・令和元年度から本工事を行う予定。</li> </ul>	 <p>屋形古墳群全体整備イメージ</p>
					55,974		



採択事業名 ③地域間連携による「稼ぐ力」・「新たな人の流れ」創出プロジェクト							
事業項目	事業の目的と概要	ルネサンス戦略		所管	決算額 (千円)	事業成果	事業の様子
		基本方針	プロジェクト				
うきはの地域資源を活かした稼ぐ力の強化(DMO※と創業支援)  ※地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う商社等	地域資源を活かした農産加工品開発・販路開拓(拡大)への支援や民間企業等による売れる商品づくりとブランディング、将来の地場企業を支える担い手育成により新たな雇用創出や平均所得の向上	①-	2.	うきはブランド推進課	15,704	<p>(DMO関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営的な視点で観光地域づくりを進めるため、平成30年度はうきは市体験型観光プランの実施に向けた可能性調査を以下のとおり実施した。</li> <li>・DMO拠点施設である「ウキハコ」を中心とした体験プログラム等を調査・企画・実施した。</li> <li>・観光資源の発掘・可能性調査として、市内事業者ヒアリングを実施し、体験プログラムを37プラン企画。企画したプランの中から、11プログラムを試験的に実施した。体験参加者合計174名。</li> <li>・「ウキハコ」ワークショップを22回実施。参加者合計3,852名</li> <li>・成果として、市内での滞在時間、観光消費額の増加、観光周遊に貢献した。また、体験参加者のアンケート調査によると、約90%の参加者が満足しており、「うきはのファン」づくり向上への取り組みに寄与できた。</li> </ul> <p>(創業関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業者に対する新設補助金(地域資源活用補助金、産業連携補助金、創業支援補助金)の交付や、地場産業のPRIにつながる施策を実施し、新商品や新サービスの研究・開発・販路開拓等を行った。</li> <li>・平成27年度以降、市内創業者へ安定したサポート・フォローを続けており、(平成27年度以降サポートした創業者数:49名)、平成30年度より新たに市内事業者の人材不足に対応した施策を進めた。(地元企業魅力発進事業)</li> <li>・うきは市無料職業紹介所におけるマッチング実績はH30年度:72件/年(正社員・パート)。</li> <li>・市内主要企業を取材して求職者・高校生・大学生等に向けた企業紹介冊子を作成し、人材の還流に取り組んだ。</li> <li>・子連れファミリーの市内における消費喚起を促すため、子連れにやさしい市内飲食店情報をまとめた冊子を作成した。</li> <li>・創業・移住支援のポータルサイトを管理運営し、創業・移住に関する情報発信と地域産業資源の紹介を広げた。</li> </ul>	 <p>創業スタートアップセミナー</p>
観光総合プロモーション情報発信事業	観光総合プロモーションを核とした情報発信(資源の磨き上げ、情報発信力の強化等)	③-	5.	うきはブランド推進課	48,596	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合観光プロモーション事業として、うきは市観光協会の運営費支援(まちづくり事業や人件費等含)及び観光客誘致のためのプロモーション活動を実施。</li> <li>・地域商社事業として、観光推進のための人材(観光プロデューサー)を配置。ウキハコの体制整備支援、観光アンケート調査、データ・ニーズに基づいた観光戦略等をオールうきは会議の中で協議し、体験プログラム等様々な観光推進の取り組みへ反映した。</li> <li>・オールうきは観光戦略会議を開催(月1回)し、市内の各種関係団体と情報共有、連携事業の協議を進めた。</li> <li>・H30うきは市観光アンケート調査では観光満足度88%(前年84%)、リピーター率89%(前年89%)となった。</li> <li>・観光教育プログラム支援事業として、市内小学校2校(吉井・御幸)による観光ICT教育を実施。小学生によるおすすめコースMAPをうきは市観光アプリに掲載し、アプリダウンロード向上を図った。また、おひなさまめぐりとタイアップした、観光アプリによるスタンプラリーを実施し、市内の観光周遊を図った。</li> <li>・うきはフィルムコミッション事業では、うきは市を舞台としたオリジナル映画の脚本制作を行った。また、フィルムコミッション専用サイトを開設。これを基に次年度以降での撮影と他の映画誘致活動に繋げる。</li> <li>・上記事業でのプロモーションの効果により、観光入込客数も前年比103%と増加傾向であり、観光満足度、リピーター率も高い数値で維持できている。</li> </ul>	 <p>観光協会のフルーツ王国開国式</p>
東京アンテナショップを活用したうきは地域活性化事業	豊富な戦略や多様なノウハウを持つ専門的な人材を活用するなど、首都圏等での圏域の魅力の売り込み	①- ①- ③-5.	2. 5. 5.	うきはブランド推進課	4,353	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京アンテナショップを活用したイベント対応や情報発信を担う嘱託職員を雇用して、うきは市公式SNS(twitter、facebook、instagram)を開発するなど、うきはファン拡大の取り組みを推進した。</li> <li>・東京アンテナショップでのプロモーションイベントを2回実施して、首都圏を中心としたうきはの認知度向上とフルーツを中心とした特産品の販売展開を行った。</li> <li>・7月の「フルーツ王国うきはフェア、ふるさと納税PR」では、特産品販売会を通じて、フルーツ王国としてのうきはのPRIにつながった。ふるさと納税では100名以上のイベント参加者がありPRIにつながった。</li> <li>・10月の「うきはフェア～市長トップセール・講演会～」では、特産品販売会と市長による講演会・交流会を実施し、東京近郊在住のうきはに縁のある方を招待して、首都圏を中心としたうきはファン層の拡大や情報発信強化を図った。</li> </ul>	 <p>フルーツ王国うきはフェア</p>
					68,653		

採択事業名 ④筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立的産業クラスターの形成							
事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 (千円)	事業成果	事業の様子
		基本方針	プロジェクト				
林業振興事業	森林管理システムを構築し、林業の生産性向上を図り、新規就業者の発掘を行う	①-	6.	農林振興課	9,860	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空レーザ計測解析によって得られた立木や地形のデータをもとに、森林の管理や木材生産の効率化を図った。</li> <li>・具体的には、現地で各種データを即時に参照できるようICTタブレット端末にデータを格納し、境界の推定、樹種や樹高などの生育状況の確認、作業道開設の検討など、労力のかかる現地調査の省力化、効率化を図った。</li> <li>・そのほか、市内の竹資源量調査を実施し、マダケ・モウソウチクの材積を把握するとともに、タケノコ生産者や竹のバイオマス利用・CNF(セルロースナノファイバー)利用等の事業者ヒアリングを実施し、竹の利用に関する現状と課題を整理した。</li> </ul>	 <p>現地でのICTタブレット講習会</p>
木材関連産業活性化事業	うきは市の地場産業である製材業を中心とした木材関連産業において、市場、製材所等に係る現状を把握し、関連産業の高付加価値への動きを支援し、新たな雇用の創出を図る	①-	6.	農林振興課	9,677	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うきは市有林の森林認証取得に係る各種データ整備を実施したほか、森林認証制度に対する理解の醸成及び普及を目指し、林業・木材産業事業者等に対し、森林認証制度に係る勉強会を開催した。また、ウッドコンビナート建設について、日田市関係者にヒアリングを実施し、建設に係る課題を整理した。(木材関連産業活性化プロモーション事業)</li> <li>・うきは市民木材利用会議(通称:うきはLab)を立ち上げ、流通段階に関わる多くの人達とワークショップを開催。関係人口の増加を図り、うきは材の付加価値化を図るものとして位置付けた。また、ワークショップを通じて出た案をもとに、プロトタイプを制作した。今後、地域での体制づくりを継続支援しながら、イベント等で活用するなどうきは材を内外に発信する。(木質資源新商品開発業務)</li> </ul>	 <p>うきはLabによるワークショップ</p>
木質バイオマス推進事業	間伐材、除伐材の有効活用と林業従事者の新たな事業展開を図り、地域内の経済、エネルギー循環を高めるための方策のひとつとして、木質バイオマスエネルギーの活用について事業化を図る	①-	6.	企画財政課	3,499	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内でうきはの木質資源を活用した小規模バイオマスによる熱利用の普及を進めるため、前年度に引き続き薪燃料の製造・加工から需要喚起までの情報を整理し、地域資源の有効活用策と効果的なまちづくりについて検討を進めた。</li> <li>・特に、森林組合等で杉などの針葉樹を薪に活用する目途がたったこと、実証実験により一冬で必要な薪の量や灯油削減量を定量的に把握できたこと、シルバー人材センターが受託する伐木作業で発生した剪定木の有効活用を図ったことにより、バイオマスエネルギー利用の取り組みを進めた。併せて薪ストーブに関心のある市民を対象にした相談会や薪割りイベントを実施した。</li> <li>・次年度は、薪ストーブやボイラーの導入補助制度を開始して、バイオマスによるまちづくりと二酸化炭素の排出削減を進める。</li> </ul>	 <p>森林組合による薪供給の取り組み</p>

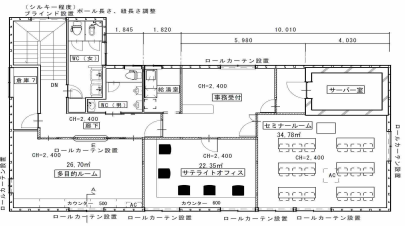
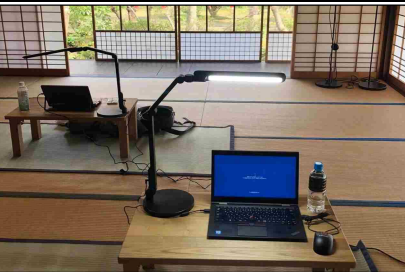
採択事業名 ④筑後川上流域の森林空間・森林資源を活用した、域内経済循環を高める自立的産業クラスターの形成							
事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 (千円)	事業成果	事業の様子
		基本方針	プロジェクト				
森林空間活用 ビジネス創造事業	森林空間を癒しの場、健康増進の場、アウトドアスポーツの場としてより一層活用することにより、森林セラピー事業を核に新たな観光・ビジネスの集積を高め、山間部の雇用創出に結びつける	③-	3.	うきはブランド推進課	5,644	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に作成した企業向けの森林セラピー体験プログラムを活用し、メディア向けにツアーを実施して周知促進に励んだ。</li> <li>・また、森林セラピー体験の受入れにおいて必要な案内人のスキルアップのため、先進地より講師を招き、案内人と一緒に現地を歩いて新たな集客につながる研修を行った。</li> <li>・うきは市の森林空間や森林セラピーをアピールするため、森林セラピーや案内人を紹介するDVDを作成。健康経営に興味のある企業や会社等25社を招待して、福岡市内で周知イベントを行った。うち、4社を関係人口「うきは応援団企業パートナー」に認定し、今後の繋がりを深めた。</li> </ul>	 <p>森林セラピー体験プログラム</p>
森林・温泉連携 による健康産業創出	健康、癒しといったキーワードで森林空間・森林資源と結びつけることができる市内の温泉資源を活かし、新たな健康産業の創出を図り、温泉自体の魅力の創出と、新たな雇用の創出を図る	①-	3.	うきはブランド推進課	13,478	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うきは市内にある森林空間・森林資源を活用した温泉連携を行い、新たな健康産業を創出するとともに、うきはの温泉地域の活性化を図るため、以下の取り組みを実施した。</li> <li>・うきはの温泉ブランドを形成するため、うきはの湯のロゴ制作。</li> <li>・市内の温泉地と連携した森林体験型の健康プログラムを17個開発。体験メニューについては、温泉セットプランへの組み込みや観光周遊対策として、宿泊客等への体験情報提供を行っている。</li> <li>・森林・温泉・健康プロモーションとして、うきはの湯ホームページを開設した。また、SNSを活用したうきはの湯フォトコンテストや市外で温泉プロモーションイベントを実施した。</li> <li>・また、各温泉旅館では、うきは産のお土産が少ない状況であったため、うきはの湯入浴剤・タオルを制作し、市内全温泉旅館で販売していくこととした。プロモーション強化として今後は道の駅や観光案内所での販売を予定している。</li> </ul>	 <p>体験プログラムと温泉旅館のマッチング会</p>
					42,158		

採択事業名 ⑤「うきは」まるごとサテライトワーク推進プロジェクト							
事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 (千円)	事業成果	事業の様子
		基本方針	プロジェクト				
サテライトオフィス等に係る誘致トップセールス	インターネット環境が整うことで勤務が可能な企業を誘致するべく、東京都市圏における企業を直接訪問し、当市での勤務環境や市の概要、地域における受け入れ体制等の説明を行う他、関連するイベント等に出展し、周知する	①- ②-	2. 1.	うきはブランド推進課	1,338	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問や東京都市圏のイベントに参加して、うきは市でのワーケーションの流れを創出した。</li> <li>・訪問先：福岡県東京事務所、日本システムズ(株)、(株)KABUK Style、シスコシステムズ合同会社、ユニリーバジャパンHD、川崎市役所、森永製菓(株)、池田糖化工業、リコージャパン</li> <li>・現在600名を超える東京都市圏の企業・団体・個人で組織された「TeamWAA!!」の定例会で参加者100名に対し、うきは市のテレワーク導入等に関する取組を説明した。その後、うきは市を訪問してもらい、セッションを進めた。</li> <li>・ISF川崎2018にブースを出展し、うきは市の「水」を切り口としてうきはの地方創生・企業誘致の取組をPRした。</li> </ul>	
「WORK FROM ANYWHERE & ANYTIME」合宿型ワークショップ実施事業	企業の担当者等を対象に、短期又は1週間でのお試し勤務及び地域課題の洗い出しに係る合宿を実施する。実際に勤務できる環境として適地かの調査をワークショップ形式で開催する	①- ②-	2. 1.	うきはブランド推進課	4,990	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「TeamWAA!!」メンバーによるうきは市を勤務地等として選択希望する企業等のニーズ調査や合宿型ワークショップ(現地お試し勤務)を実施し、延べ43名の都市圏社員等がうきは市の鏡田屋敷においてサテライトオフィスの可能性について検討・考察を行った。</li> <li>・ニーズ調査の結果、うきは市にサテライトオフィスを設ける必然性が乏しい中で高額の交通費をかけて来るだけの付加価値をうきは市が発揮し、うきは市自体の認知度を上げることが必要であることがわかった。また、課題として、観光資源の認知や移動手段、宿泊施設、地理条件のハンデ、インフラ整備等の必要性が挙げられた。</li> <li>・これらの抽出した課題について合宿型ワークショップを通じて、今後サテライトオフィスとして運営していくための方策等を模索し、参加者それぞれの目線で報告・提案を行った。</li> </ul>	
サテライトワーク等に活用できる市遊休施設等の都市部企業とのマッチング事業	廃校になった小学校等の遊休施設の新たな活用として、企業等の利用意向調査や都市部企業等とのマッチング調査を行うほか、企業と地域住民の合意形成の場を設置する	①- ②- ④-	2. 1. 1.	企画財政課	7,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にとって誇りや思いが詰まった旧姫治小学校などの遊休施設を地域住民との合意形成を図りながら、企業等による利活用に結び付けるため、地域での意向把握や企業にむけてのPRなどを行った。スタートアップとして、廃校や遊休施設を利活用する取組に関心を持つ企業等に呼びかけながら開催した内覧会には11社が旧姫治小学校に足を運んでもらい、校舎の各教室や運動場などの物件紹介を行った。あわせて、地域からの約60人の参加者とは、活用イメージの紹介や地域の実情や思いなどについて情報や意見などを交換した。豊かな自然、棚田や茅葺民家などの地域資源をいかにしながら、地域の魅力を発信していくことの必要性などについて認識を深めた。また、地域での個別インタビューや会合などの機会に地域でのニーズ調査を行い、地域との関わりを大切にする企業などの進出を期待するなどの意向を把握した。また、今後の施設活用の条件整理の参考として全国の廃校活用事例の情報収集を行った。</li> </ul>	

副市長によるトップセールス

鏡田屋敷でのお試し勤務


旧小学校跡地利用内覧・見学会

採択事業名 ⑤「うきは」まるごとサテライトワーク推進プロジェクト							
事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 (千円)	事業成果	事業の様子
		基本方針	プロジェクト				
インターネット環境システム構築	企業が安心して仕事ができるセキュリティ能力の高いインターネット環境と仕事ができる環境づくりを行う	①- ②- ④-	2. 1. 1.	うきはブランド推進課	146	・施設を利用しやすい環境を整えるため、令和2年度に実施予定のインターネット環境システムの構築にむけて、鏡田屋敷で合宿型ワークショップを開催した際に、現状把握や実際の予約や使用を想定した課題抽出を行った。	NO PHOTO
サテライトオフィス等の整備 (U-BiC設計費)	施設改修を行い、IT・プログラミング教育等に関する講義が可能となるリカレント教育の拠点として活用可能な環境を整えるための設計費用	①- ④-	2. 1.	うきはブランド推進課	3,132	・現在遊休施設となっているU-BiC2階をIT・プログラミング教育等に関する講義が可能となる施設として環境を整備するため設計を行った。	
サテライトオフィス等の整備 (鏡田屋敷の整備)	セキュリティ能力の高いインターネット配線等の整備やテレビ会議が可能なシステム、デスク周辺の備品導入等に係る費用	②- ④-	4. 1.	生涯学習課	8,670	・鏡田屋敷にセキュリティ能力の高いインターネット配線等の整備やテレビ会議が可能なシステム、デスク周辺の備品を導入した。	
					25,276		テレビ会議が可能になった鏡田屋敷

# 地方創生拠点整備交付金採択事業

採択事業名	概要
⑥産学官連携による「うきは6次産業化研究開発・事業化支援センター(仮称)」を拠点とする食品加工支援機能強化推進計画(うきは市単独事業)	・農業の6次化を推進するための食品加工支援施設整備

平成30年度地方創生拠点整備交付金採択事業報告及び決算額


採択事業名 ⑥産学官連携による「うきは6次産業化研究開発・事業化支援センター(仮称)」を拠点とする食品加工支援機能強化推進計画							
事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 (千円)	事業成果	事業の様子
		基本方針	プロジェクト				
うきは6次産業化研究開発・事業化センター	農産物等の6次産業化に資する施設を建設し、これまで廃棄していた果実をはじめとする農産物の利用を促進して新たな特産品の開発や製品の高付加価値化によるうきはブランドの構築を図る	①-	2.	農林振興課	127,700	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者等の所得増大や地域産業の振興を図るため、うきは市内の地域農産物を活用した加工品等の研究開発及び事業化に向けた支援を行う施設である「うきは6次産業化研究開発・事業化支援センター」を建設計画し、3月末に建設完了した。</li> <li>・今後施設を活用した新たな特産品の開発や高付加価値によるうきはブランドの構築を図っていく。</li> </ul>	 <p>センター正面外観</p>
		①-	4.				
		①-	5.				
		①-	6.				
					127,700		

# 地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)採択事業

採択事業名	概要
⑦地域コミュニティ活性化支援事業(うきは市単独事業)	・地域コミュニティ組織活動を資金面で支援し、地域経済基盤の形成と移住・定住の促進を図る ・各自治協議会の活動の核となるコミュニティセンター整備



平成30年度地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)採択事業報告及び決算額

採択事業名 ⑦地域コミュニティ活性化支援事業							
事業項目	事業の目的と概要	ルネッサンス戦略		所管	決算額 (千円)	事業成果	事業の様子
		基本方針	プロジェクト				
地域コミュニティ支援事業	協働のまちづくりを推進するため、うきは市内11の地区自治協議会の運営に対して、市が支援交付金による財政支援を行う。この取り組みに対し、民間企業から寄付を募り、(民間企業には約6割の税額控除あり)官民連携の取り組みを進めていく	②- ②- ③- ④-	2. 3. 4. 1.	市民協働 推進課	103,009	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回自治協議会事務局が集まり、行政区未加入、防災対策、耕作放棄地、コミュニティビジネス等、運営面や問題点について意見交換を行っている。</li> <li>・大石地区の住民型有償サービスのほか、小塩地区ではお米の販売、田籠地区の郵便事業、その他自治協議会においても様々な委託事業を受け、自治協議会内での事業展開を図った。</li> <li>・市では、各種事業に対する財政支援を行うとともに、大石コミュニティセンター駐車場の整備、田籠、山春、江南コミュニティセンター室内設備改修など、自治協議会の拠点となるコミュニティセンターの設備改修等を行うことで利便性の向上を図り、コミュニティ活動の発展に繋げた。</li> <li>・その他、自治協議会主催や市、他の団体等が開催するお祭り等イベント事業への出店を行った。</li> <li>・これらの事業に対して、平成30年度は5社より合計340万円の寄付を受けた。</li> </ul>	
					103,009		御幸自治協主催のみゆきマルシェ